第２学年図画工作科学習指導案

対　象　青森市立三内小学校　２年２組　２４名
指導者　黒川　千恵

１　題材名　「へんしん！きらきらファッションショー　～１年生にワクワクをとどけよう～」

２　題材について
（１）学習指導要領との関連
本題材は、小学校学習指導要領の次の目標・内容に基づいて設定したものである。

第１学年及び第２学年の目標と内容
（１）対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに，手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い，表し方などを工夫して，創造的につくったり表したりすることができるようにする。
（２）造形的な面白さや楽しさ，表したいこと，表し方などについて考え，楽しく発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにすることができるようにする。
（３）楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

内容
Ａ　表現
（１）　表現の活動を通して，発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
イ　絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けることや，好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えること。
（２）　表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
イ　絵や立体，工作に表す活動を通して，身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに，手や体全体の感覚などを働かせ，表したいことを基に表し方を工夫して表すこと。
Ｂ　鑑賞
（１）　鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して，自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ，表したいこと，表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げること。
〔共通事項〕
（１）「Ａ表現」及び「Ｂ鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　自分の感覚や行為を通して，形や色などに気付くこと。
イ　形や色などを基に，自分のイメージをもつこと。

（２）指導にあたって
本学級の児童は図画工作科への関心が高く、自分のイメージを工夫して形にすることや、友達と作品を見せ合って感じたことを伝え合う活動を楽しんでいる。これまでに、クラフト紙やビニール袋、ビニール紐、ねぶたの紙などの多種多様な材料に触れ、それぞれの質感や色の面白さを生かしながら作る楽しさを味わってきた。当初は発想に迷う姿も見られたが、友達の試みを取り入れたり、試行錯誤を重ねたりする中で、自分なりのこだわりを見出し、完成の喜びを実感できるようになってきている。
児童はこれまで、給食準備の手伝いやアサガオの植え付け、学校探検、学習発表会前の低学年発表会などを通して１年生と親密に関わり、上学年としての意識を高めてきた。本題材では、１年生に「ワクワクを届ける」ことを目的に、「へんしん！きらきらファッションショー」で、身に着け

る変身衣装を製作する。「１年生を喜ばせたい」という明確で豊かな相手意識をもたせることで、感性や想像力をより一層働かせ、自分の思いを意欲的に形にしようとする姿が期待できる。模倣や試行錯誤の過程を大切にしながら、表現する喜びを深めさせたい。

本時では、「体育館のステージから１年生に見せる」という意識を明確にして活動を進めていく。ステージ下からの見え方を想起させ、鏡に自分の全身や動く姿を映して確かめさせることで、飾りの位置や色の組み合わせ、動いても壊れない接合・補強の仕方を主体的に試行錯誤できるようにする。

制作においては、使用する材料や用具を児童自身に決定させる。自分で選んだ材料の扱いにくさや接合の難しさに直面した際にも、粘り強く挑戦する姿勢を認め、自己実現へとつなげたい。また、友達と鑑賞し合ったり、互いに手伝い合ったりする学び合いの場を設定することで、自分の思いを形にする「創る喜び」と、他者と関わり思いを分かち合う「伝える喜び」を一体的に育んでいきたい。

３　題材の目標

・変身するための衣装をつくるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。
・ビニール、画用紙、はさみ、ホチキス、セロハンテープなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。　（知識及び技能）
・ビニールなどに材料を付けたり、変身しつつある自分の姿を見ながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
・変身した自分たちの姿や飾りの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。　（思考力，判断力，表現力等）
・楽しく飾りを付けて自分が変身するものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。　（学びに向かう力，人間性等）

４　研究内容との関わり

①造形的な見方・考え方を引き出す「出会い」の工夫【発見】

ファッションショーとして体育館で発表することと「ステージ下にいる１年生の目線」という新しい視点に出会わせることで、離れた場所からの見え方や飾りのインパクトなどに目を向けさせ、本時の表現活動への意欲と視点を引き出す。

②創る喜びを支える試行錯誤の過程の工夫【試行】

児童が衣装を形にする中で直面する「動きによる破損」や「遠目での見えにくさ」といった課題に対し、自ら解決策を見出せるような手立てを講じる。教師は答えを直接与えず、「どうすれば動いても壊れにくいかな？」などの促しを行うことで、児童が試行錯誤を繰り返し、自分の手で作品を高めていく「創る喜び」を実感できるようにする。

③伝える喜びを広げる鑑賞の工夫【対話】

自分の思いを形にした衣装を実際に着用して動いて友達と見せ合ったり、アドバイスを交わし合ったりする対話的な鑑賞の場を設定する。鏡の前で動作を交えながら自慢したい工夫点を伝え合うことで、自分の表現に対する納得感と相手に伝わる手応えを味わわせる。また、「１年生の目線」を共有の視点とし、造形的な特徴に着目したアドバイスを促すことで、友達のよさを受け入れ、自分の作品をさらに高めようとする協働的な学びへとつなげる。

④感性を未来・社会へつなげる場の工夫【接続】

「１年生にワクワクを届ける」という目的を常に意識させることで、自分の「つくりたい」という思いを「相手にどう届くか」という社会的な視点へと昇華させる。１年生の視点（ステージ下からの見え方や動き）を意識して補強や飾り付けを行うことを通して、造形的な感性を他者への配慮や生活を豊かにする態度へとつなげる。

5　指導計画と評価規準

（1）題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分の衣装をつくるときの感覚や行為を通して、形や色などに気付いている。 ・自分で選んだ材料、はさみ、ホチキス、セロハンテープなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に工夫して表している。	・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、１年生にワクワクを届けたいという思いから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 ・いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、変身した自分たちの姿や飾りの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい楽しく自分が変身する衣装をつくる学習活動に取り組もうとしている。

（2）指導計画（全５時間）

時	ねらい	主な学習活動	準備物	評価
1	材料の質感や色の面白さに気付き、身に付けたい衣装のイメージを広げることができる。	・衣装のテーマ（なりたい自分・届けたいワクワク）を考え、材料に触れてイメージを広げる。 ・１年生に見せるためのファッションショーをすることを伝える。	＜材料＞ ・ラシャ紙 ・クラフト紙 ・カラービニール袋 ・装飾用ポリテープ ・ビニールテープ ・ビニール紐 ・紙テープ ・折り紙 ・色画用紙 ・ねぶたの紙 ・お花紙 ・カラーセロハン など ＜用具＞ ・セロハンテープ ・両面テープ ・ガムテープ ・ホチキス ・はさみ など	材料の質感や形、色などの特徴をとらえている。【知識・技能】
2	体に合わせた大きさや形を考え、衣装のベースとなる基本構造を工夫してつくることができる。	・クラフト紙や袋を活用し、手や体全体の感覚を働かせて、衣装の基本となる形を作る。 ・体の大きさに合わせて切ったり付け足したりする。		体に合わせた大きさや動いたときの形を考え、衣装のベースのつくり方を工夫している。【思考・判断・表現】
3	自分の変身イメージに合わせて材料を選び、色や形の組み合わせを試しながら飾り方を工夫することができる。	・ビニール紐や各種テープ、ねぶたの紙などを組み合わせ、飾りを工夫して作る。 ・次時でも使ってみたい材料の見通しをもつ。		色や形、材料の組み合わせ方を試し、自分の変身イメージに合う飾り方を考えている。【思考・判断・表現】

4（本時）	衣装を着た時の動きや見え方を鏡で確かめたり、友達と見せ合ったりすることを通して、ステージ上での見え方や１年生の目線、動きやすさを意識し、飾り付けや動いても丈夫な補強の仕方を工夫することができる。	・鏡で全身の動きや見映えを確かめたり、友達と見せ合ったりしながら、飾り付けをする。 ・実際に着て動いてみて壊れたり飾りが取れたりしないように補強をする。 ・グループで、自分の衣装を紹介したり、感想を伝えたりする。		鏡で確かめたり友達と見せ合ったりしながら、１年生からの見え方を意識して飾り付けや補強の仕方を工夫している。 【思考・判断・表現】
5	１年生に衣装を披露し、自分や友達の工夫、動きの面白さを捉え、関わり合いながら鑑賞することができる。	・衣装を身に付け、体育館のステージで１年生に披露する。 ・友達とお互いの工夫や面白さを鑑賞し合う。	ファッションショーのＢＧＭ	１年生を喜ばせたいという思いをもち、友達と関わりながら主体的に発表や鑑賞を行おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

6　本時の学習

（1）ねらい

衣装を着た時の動きや見え方を鏡で確かめたり、友達と見せ合ったりすることを通して、ステージ上での見え方や１年生の目線、動きやすさを意識し、飾り付けや動いても丈夫な補強の仕方を工夫することができる。

（2）研究内容に関わる本時の工夫

本時では、実際に衣装を着用して大鏡の前で動いてみる場や、友達と見せ合ったり教え合ったりする場を設定する。「ステージ下にいる１年生の目線（遠目・見上げる視点）」や「１年生を楽しませたい」という共通の目的意識をもたせることで、離れた場所からの見映えや動きやすさ、動いても壊れない接合・補強の仕方に着目させ、自ら解決策を見いだしていく試行錯誤の過程を大切にする。また、衣装を着て動いたときの揺れや音の面白さを伝え合ったり、丈夫さや目立たせ方についてアドバイスを交わし合ったりする対話的な鑑賞の場をつくる。友達の工夫やアドバイスを柔軟に取り入れながら表現を高め合う体験を通して、自分の思いを形にする「創る喜び」と、相手に思いが伝わる「伝える喜び」を一体的に広げていく。

（3）展　開（４／５）

主な学習活動　・予想される児童の反応	○留意点　□手立て　※評価
1　前時までの学習を振り返る。 きらきらファッションショーで、１年生にワクワクをとどけよう。 ・いい感じになっているけど、飾り付けをして、もっと素敵にしたいな。	○前時までに作成した衣装を身に着けさせておく。 ○１年生はステージの下にいてみることを確認する。 ○動いてみると見え方が変わることに気づかせる。
2　本時のめあてを確認する。 かがみでうごきをたしかめて、もっとすてきにかざりつけをしたり、つよくしたりしよう。	○「鏡で見る」「友達と見合う」「着て動く」を通し、衣装のよさや課題に多角的に気付けるよう促す。
3　材料を見ながら、イメージを膨らませ、見通しをもつ。 ・ビニール紐でさらさらの衣装にしたいな。 ・ねぶたの紙を使うとかっこよくなりそうだな。	

4　衣装に飾り付けをする。 ・腕にビニール紐をたくさんつけて、回ったら、噴水に変身できるかな。 ・後ろに大きなリボンをつけるとかわいくなりそうだな。友だちに手伝ってもらおう。 ・跳ねると、飾りが落ちていきそうだから、ガムテープでしっかりとめよう。 ・○○さんに「赤色がいいね」と言われたから、ここも赤にしよう。 ・◯◯さんの服は遠くからとても明るく見えるからぼくも明るい色を入れてみよう。 ・そでのところが破けそうだからガムテープで留めてみよう。	○活動中のルール（安全、友だちとの交流など）を確認してから、活動をスタートさせる。 ○「１年生に見せたらどうかな？」と相手意識を想起させる。動いてみたり、ポーズをとったりしたときの飾りの動きや見映えに気付かせる。 ※鏡で確かめたり友達と見せ合ったりしながら、１年生からの見え方を意識して飾り付けや補強の仕方を工夫している。（観察） 【思考・判断・表現】 □自分で選んだ材料の扱いに苦戦している児童には、すぐに手助けするのではなく、「どうやったら付きそうかな？」と問いかけ、試行錯誤や友達との協働による解決を促す。 □児童と対話をしながら、思いを確認し、一緒に触ったり、動かしたりしながらイメージをもたせる。 ○材料の特性に悩みながらも工夫しようとするチャレンジ精神や試行錯誤の姿を積極的に認め、価値付ける。
5　グループで、自分の衣装を紹介したり、感想を伝えたりする。 ・うでのところがひらひらするように、ビニール紐を５本つけたよ。 ・シャラシャラゆれると音が聞こえて、とてもいい衣装だね。 ・遠くからでも目立っていいと思うよ。 ・ねぶたの紙をつけて、かっこいいね。	○「１年生がワクワクするか。」の視点をもたせ、友達の工夫やよいところを見つけて言葉で伝え合えるように促す。
6　全体で衣装を鑑賞し合う。 ・○○さんの服がきれいな色でいいと思いました。 ・○○さんの服は動くとひらひらしてとても面白いと思いました。 ・○○さんの服にはねぶたの紙がたくさんついていてかっこいいと思いました。	○単に友達の作品を紹介するだけでなく、実際に歩いたりポーズをとったりする鑑賞にし、動きや色などの華やかさを感じ取れるようにする。
7　振り返りをする。 ・１年生が楽しくなる衣装ができたと思うので、発表を頑張ります。 ・みんなが一生懸命に作っていたので、きらきらファッションショーが盛り上がると思います。 ・鏡を見て、新しく背中にリボンをつけることにしました。友達に手伝ってもらいました。 ・腕の所が取れそうだよと友達がおしえてくれたので、ホチキスで補強しました。 ・遠くから見てもきれいな色が目立つように後ろにも飾り付けをしてよかったです。	○友達のアドバイスを取り入れた工夫や、動きに合わせて補強した工夫を価値付け、１年生への発表（次時）への意欲を高める。